

【理事会議事録】

開催日時：2007年6月30日（土）13：00～16：45

開催場所：JAXA東京事務所会議室

出席者：土佐，柴橋，國枝，花岡，高田，北本，田村，嶋作，福田，高羽，渡部，堂谷，比田井，中本

以上14名

他に東條事務長が出席した。

表決状提出者：和田　以上1名

議事に先立って，5月22日に急逝された学会教育委員会委員であった森淳氏に黙祷をささげた。

また，署名人として花岡，高田両庶務理事を選出した。

報　告

- 前回議事録確認
 - 高田庶務理事より資料1に基づいて前回理事会の議事録について説明がありました承された。
- 秋季年会，その後の年会について
 - 岐阜で行われる2007年度秋季年会の準備状況について高羽開催地理事より配布資料に基づいて説明があった。宿泊施設については旅行社経由で既に400部屋ほどを確保し，公開講演会については「技術開発が拓く宇宙の扉」というテーマで家，中川両氏による講演が予定されていることが報告された。特に大きな問題はなく順調に準備が進んでいる。
 - 今後の年会開催地について配付資料に基づき高田庶務理事より説明があった。
 - 2009年春の大阪府立大学までは前回までに了承されていたが，2009年秋の山口大学及び2010年の秋の広島大学での開催について当事者の了承がとれ，既に年会開催地準備マニュアルを送付し，準備が着々と進んでいることが報告された。また，2010年春の年会については京都大学に開催を打診中であることもあわせて報告された。
 - 西日本に開催が集中しているので少し分散を考える必要性があるという指摘がなされ，今後，特に2010年春等についてさらなる調整を進めることとなった。
 - 公開講演会について，2007年春の年会における公開講演会が大変盛況であったことが花岡庶務理事より報告され，今後の公開講演会の成功のためにも，集客等のノウハウを蓄積し，今後の年会運営に生かすべきであると指摘があり，年会開催地マニュアル等に反映させることを検討することとした。講演会は科研費からの補助を受けることもあるので，これを最大限生かせるような努力をすべきであるとの指摘もあった。
 - また，開催地となったあとで，開催地理事になるまでに時間がかかることがあり，準備段階の会場確保などの段階で，天文学会としての役名がないために苦労した旨，比田井開催地理事から指摘があった。理事の任期をずらすなどは手続き上問題が多いため，「年会準備委員長」などという役名をつけることで乗り切れないかを今後検討していくこととなった。
- その他
 - (1) 早川基金の運用と内規改定について
 - 北本会計理事より，栗木早川基金選考委員長から提出された配布資料に基づき，早川基金の内規の改訂について報告があった。今回の理事会では原案を報告し，問題点などの洗い出しを行い，次回の理事会において議論を行ってから内規の改訂を評議員会に提案したい旨，あわせて報告された。今回の変更は，現在の内規で規定されている旅費の支給対象の制限を緩和すること（滞在費等にも拠出できるようにする）を主な目的としていることに関しては基本的に問題はないとの意見が複数理事より出されたが，運用上実際に交通費以外を支給するかどうかについては，支給額の査定の方法などの技術的な問題があるのではとの指摘がなされた。応募者にわかりやすい文面で公募文書を作成する必要があり，特に支給額の上限などは必ず明記されるべきであるとの意見が出された。北本会計理事と栗木委員長が相談して，今回出された意見等も反映させながら今後の対策を決めることとなった。
 - (2) 学会会議の「太陽系天体の名称等に関する検討小委員会」報告
 - 花岡庶務理事より，配付資料に基づいて報告があった。新しい太陽系像についての説明に向け作成された資料（第1，第2報告）が回覧された。
 - また，新しい太陽系の姿を伝えるためのポスター及びパンフレットの作成について報告された。ポスターは学校への配布を，パンフレットは主に科学館などへの配布を考えて作成する予定であるが，予算的な裏づけが今のところないものなので，関係各団体から少しずつ集めている段階であるとのこと。天文学会にも支出への協力の要請があり，それについては了承された。また，作成したポスターやパンフレットの活用方法を学会としても考えるべきであろうとの意見が出された。
 - (3) 博物館展示会企画について
 - 國枝副理事長より資料8及び追加配布資料に基づいて説明がなされた。天文学会創立100周年のイベントの1つとして，国立科学博物館と共同で日本の天文学の歴史等に関する展示会を行うことを考えていたが，既に2008年度内での開催は困難との判断から，世界天文年との合同の企画として2009年に国立科学博物館において展示後，各博物館を巡回する展示会が企画されていることが報告された。国立科学博物館においては300平方メートル程度の展示会場を確保する見込み。全体で1500万円程度の費用が予想されるが，一部については科学博物館が負担することが見込めるので，残りを学会側が様々な方法を用いて工面することを考えていることが報告された。
 - 展示物の候補の中には歴史的なものも多数あり，展示自体は興味深いものとなりそうであるが，保険契約なども必要であるとの見通しである。現状では2009年第2四半期が想定されている。巡回先については現在議論中で5つくらいが限度であろうとの見通し。
 - 世界天文年との絡みもあるので，募金等の集め方については連携をしっかりと取る必要があること，また，しっかりした展示場所ですっきりとした展示を行うことが学会の趣旨にあうのではないかと意見が出された。この出資後はしばらく大きな事業はできないであろうとの予算的見通しもあわせて考える必要があることも指摘があった。
 - 今後，実行委員会を設け，具体的な展示の詳細を決める必要があるとの意見が多く理事から出され，至急対応することで了承された。
 - (4) 教育委員会から報告
 - 渡部教育理事より，世界天文年についての最近の動きについて口頭で報告があった。世界天文年日本委員会のキックオフミーティングが5月29日行われ，スケジュールについての共通認識を持つことができたこと，また，個別の企画の調整，特に募金等の調整が必要で，募金委員会を設けることで対応を考えている旨，報告があった。企画委員会を作成し，調整を行う。その下に各WGを立ち上げる予定とのこと。
 - (5) 学会100周年記念切手に関する打ち合わせ
 - 北本会計理事より，配付資料に基づいて郵政公社と行われた打ち合わせについて報告がなされた。80円切手10枚（または12枚）で1セットとなるもので，現在デザインのアイデアが欲しいので，良い案があれば北本理事まで送って欲しい旨要請があった。
 - (6) 指定管理者制度に関して
 - 花岡庶務理事より天文教育施設に対する指定管理者制度の導入に関して，天文教育普及研究会の松村会長から提出された資料に基づき説明がなされた。現在，公共施設の管理運営が見直され，博物館や科学館，プラネタリウムなどの天文教育施設においても指定管理者制度が導入され始めているが，問題点として長期的展望に立った活動が難しいなどがあげられており，その導入に反対する声明を天文学会を含んだ形で進めたいという希望を持っている。天文教育普及研究会での議論も進んでいるので，今後，この問題について学会側担当者を決め取り組んでいけるようにできないかという要請であった。学会の教育委員会においてこの問題を担当していた森氏の急逝により現在活動が停滞中であり，至急後任者を決めて活動を再開していく方向で検討を始めることとなった。補足として，渡部教育理事より秋の学会教育フォーラムにおいて法人化による功罪と指定管理者制度について議論する場が設けられることもあわせて報告された。

議　題

- 新入会員の承認
 - 高田庶務理事より資料4に基づいて新入会員のリストが示され，了承された。また，退会者等の報告がなされた。
- 2008年度事業計画について
 - 高田庶務理事より，資料5に基づいて2008年度の事業計画案は示された。基本的な部分は例年どおりの活動であるが，学会100周年記念の様々なイベントやPASJの半額キャンペーンなどが特記事項として示された。衛星設計コンテストへの共催による参加について書くべきであるとの指摘があり，その点を修正するということで了承された。
- 2008年度収支予算案について
 - 田村会計理事より資料6に基づいて2008年度収支予算案が示された。PASJ半額キャンペーンは2008年度に投稿をしたものについて適用されるので2009年度にも半分程度影響が残ることや出版費に関する科研費による補助の減額などが特記事項として示された。
 - 中本年会理事より，年会予算に絡んでジュニアセッションの世話人である吉川氏より，来年度でジュニアセッションが10回目を迎えるので，初回から10回目の予稿集の合冊本を作るものの可能性を打診されていることについて，配付資料に基づいて説明があった。その意義について議論され，CDROMでの配布だけでも良い，CDの数も多すぎると意見が出された。ジュニアセッションの内容をWEBで公開するのが先ではないかとの意見もあったので，田村会計理事より，今後の方針を中本理事から吉川氏に連絡してもらい，状況に応じて多少の金額のサポートは考えることとするとの回答があった。
- 秋季総会議題
 - 秋季総会における議題について，高田庶務理事より資料7に基づいて説明がなされた。内容については特に質疑もなく承認された。なお，本総会中に学会ロゴに関する表彰式を行うこともあわせて確認された。
- 学会ロゴについて
 - 北本会計理事より配付資料に基づいて学会ロゴコンテストの審査結果について報告が行われた。2回に渡る審査委員会の結果，最優秀賞1つと優秀賞2つが選ばれた。最優秀賞の作品については，今後ロゴとして使っていく上での商標登録を行うことを考えているので，商標調査を特許事務所に依頼して行ったこともあわせて報告された。若干の問題がある可能性があるが，このまま登録を申請し，特許庁の回答を待つ方針で考えているとのこと。また，優秀賞作品の1つが学会100周年に関係するイベント等で使用したい旨，あわせて報告された。使用させて頂くのならば，期間限定で使わせてもらいたい旨の契約をデザインをされた方と結ぶべきであるとの意見が出され，その方向で検討することとなった。
- その他
 - (1) 衛星設計コンテストについて
 - 高田庶務理事より，衛星設計コンテストの最終審査会場において学会の宣伝をする展示を行ってはどうかと，担当の1人の郷田氏より依頼されている旨報告があり，展示を行うことについては承認された。今後も何年も続いて参加をするコンテストであるので，関連する事柄を専門に扱う組織が必要であろうとの認識が示された。これについて議論がなされ，理事長が参加している企画でもあることから，委員会を新設することが良いであろうとの合意に達した。来年度から充足の方向で今後準備を急ぐことで承認された。
 - (2) 次回について
 - 次回は秋季年会中に開催。次々回については後日調整するが，1月中旬迄に行う必要がある。

2007年8月2日

議　長　土佐　誠

署名人　花岡庸一郎

署名人　高田　唯史